

提出日 R〇年 〇月 〇日

提出者 伊藤 所属 放課後等デイサービス 〇〇〇 連絡先 011-123-4567

困り事	事業所に通所している児童で他害行為のある児童がおり、保護者が個別に支援をしてくれる事業所を探している。現在通所している事業所では小集団の療育をしており、それ以外の支援も受けたいとの希望から事業所を探しているが、中学生以降になった児童の新規での受け入れは断られてしまい、必要な支援を十分に受けることができていない。
本人の障害状況	年齢 <u>10</u> 代 <u>男</u> 女 診断名 <u>ADHD傾向（診断は無し）</u> 手帳等級 <u>なし</u>
あるべき姿(本人の希望)	本人が希望している状況を記入 本人及び保護者は将来的な集団への参加や社会適応のために様々な支援を受けることを希望しており、そのための支援として小集団での療育とは別に個別での支援を望んでいる。
現在の問題状況(希望とのギャップ)	現状を記入 他害行為などの行動障害が強く、他児からの影響のない環境でより本人の状況に合わせた支援をしてもらうためにも個別療育をしてくれる事業所を探しているが、本児童は現在中学生であり、この年齢から新規に個別に支援をしてくれるデイサービスが見つからない。
課題解決に向けて取り組んだこと、工夫してきたこと	・事業所で本児への支援を充実させるため、個別支援を実施している事業所に連絡し、見学をさせてもらった。これにより個別の支援の充実を図っている。 ・現在通所している事業所でも個別に支援・対応をする時間を設け他児童への影響が軽減されるよう、支援内容と環境の見直しを実施。
地域部会で協議したいこと	・中学生になってから行動障害が色濃く表出しており、中学生以降でも行動障害に対して新規に個別支援をしてくれる事業所がないか検討したい。また、見つからないのは地域の提供体制の問題なのかも合わせて検討したい。
備考	